

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在コロンビア日本国大使館

記入日 2013年7月

1. 現地の建設工事に係る経済情報

資料名：

URL：

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

--

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	4月の建設許可が増加 4月の建設許可は、190.4万m ² に達し、前年同月比37.2%の増加である。住宅建設で38.1%増加したことによるものである。	2013/6/20 Portafolio	あり/なし
2	土木工事の支出が増加 第1四半期の土木工事の支出が前年同期比18%増加した。鉱山建設・発電施設・パイプライン分野で25.4%増加、水路・港湾・ダム・上下水道で8.2%増加、鉄道・空港の大量輸送システムで51.6%減少した。	2013/6/13 各紙	あり/なし
3	リネアトンネルは2014年9月開通予定 国の中央部と太平洋とを結ぶ最も重要な国家プロジェクトの一部であるリネアトンネルは、2014年9月の開通が見込まれる。	2013/6/17 Espectador	あり/なし
4	地下鉄工事が2015年に開始 ボゴタ市は、3千7百万ドルをかけ、ボゴタ地下鉄の最終調査に契約した。最初の路線は、総延長26.5kmの地下路線で2015年に工事を開始し、2019年の運行開始を見込んでいる。	2013/6/25 El Tiempo 他	あり/なし

5	5 空港の工事入札 国家インフラ庁は、7月に、合計 20 万ドルの規模となるバランキージャ、アルメニア、ネイバ、ポパヤン及びカルタゴ空港の機能拡張工事のコンセッション契約の事前評価を開始すると発表した。	2013/6/17 Portafolio	あり/なし
6	エルドラド空港の国内線ターミナルが 10 月に供用開始 ボゴタのエルドラド国際空港の新国内線ターミナルは、10 月から LAN 航空と COPA 航空が利用する。AVIANCA 航空は、2014 年 3 月に利用開始する。旧国内線ターミナルは 12 月に取り壊される。	2013/6/25 各紙	あり/なし
7	アグアドゥルセ港区の建設が加速 ブエナビントゥーラ港内に位置するアグアドゥルセ港区は、2014 年の供用開始を目指して、港内の浚渫とコンテナターミナル、21km に及ぶアクセス道路の整備を進めている。この港区には、4 億ドルの投資が見込まれている。	2013/6/18 Portafolio	あり/なし
8	8 億 5 千万ドルがコロンビアの港湾に投資された 米国、チリ、カナダ、スイス、パナマ、コスタリカ及び EU との自由貿易協定に対応するために、カルタヘナ、サンタマルタ、バランキージャ及びブラナビントゥーラの港湾施設に、この 1 年半で 8 億 5 千万ドルが投資された。	2013/6/22 El Especcador	あり/なし
9	5 月の建設許可が増加 建設許可が前年同月比 22.3%増加し、239.7 万 m ² に達した。これは政府が推進する住宅プログラムにより、住宅地域で 20.5%増加したためである。	2013/7/17 各紙	あり/なし
10	上半期のインフラ整備状況 上半期は、合計 100km が二車線化された。太陽ルート及びカリブルートでは 173.69Km の改修が行われ、本年後半には、300km に達する見込み。	2013/7/26 Espectador	あり/なし
11	次世代インフラ契約に 11 カ国の企業が応募 国家インフラ庁によると、年後半に開始する 2 つのインフラプロジェクトに、オーストリア、メキシコ、コスタリカ、エクアドル、ペルー、コロンビア、ブラジル、ウルグアイ、スペイン、ポルトガル、フランス、イタリアが応募したことを報告した。入札は 5 ヶ月後に行われる。	2013/7/12 El Siglo	あり/なし
12	第 2 リネアトンネルは 2018 年の完成を目指す 国家インフラ庁長官は、推定 5 億円になる第 2 リネアトンネルプロジェクトについて、コロンビアとイタリアの共同企業体から官民連携の枠組みで 2018 年開通とする提案	2013/7/22 La Republica	あり/なし

	を受けたと述べた。		
1 3	マグダレナ川のメガプロジェクト スイス企業である Impala 社は、マグダレナ川を利用して国の中央部からバランキージャ港までの石油・石炭を輸送するため、約 8 億ドルを投じて、バランカベルメハ港の建設と 49 隻のはしけや 80 台のトレーラーによる運営プロジェクトを実施する。	2013/7/19 Portafolio	あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>
1 4	鉄道修復の落札予定 国家インフラ庁は、9 月に、1 億ドルを投資し、国の中央部と沿岸部を結ぶ延長 875km の中央鉄道システム修復事業の入札者を決定し、2014 年 12 月には運行を開始する予定。	2013/7/19 Portafolio	あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

アルバレス運輸大臣は、今次国会にインフラ法改正案を提出している。また、サントス大統領は、同法案に賛成するよう議会に要請している。なお、本改正法案は既に下院を通過しており、本年中の採択が見込まれる。

本改正法案の概要は以下のとおり。

1 土地収用

土地の収用手続きに 3 年必要だったものが、即時に実施可能となる。

2 公共インフラ網の補償

公共インフラの移設費用の負担について明確化。

3 採掘権との紛争解決

採掘権の存在する土地について、インフラ工事が優先される。

4 環境許可

環境許可を与える期間を大幅に短縮。